

だけでなく、教員からの相談が増えています。専門家に相談できる体制が整い、教員から児童生徒への支援の強化ができたことが成果の一つと考えています。

適応指導教室の設置

問 半田空の科学館内に不登校児童生徒のための適応指導教室がありますが、分室として始めた図書館や公民館での受け入れについて、状況はどうなっていますか。

答 図書館から学校に戻ることができた事例や公民館からフリースクールに行くようになった事例など、地域の施設で見守って頂きながら児童生徒の支援に努めています。



建設産業委員会

危険なブロック塀

問 老朽化建築物取り壊し促進・空き家対策事業について現状では危険なブロック塀の推定数を算出して事業を実施していますが、実数の把握を行う予定はありますか。

答 現在実施中の行政協力員による調査や、小中学校

からの通学路上の調査などの報告を受け、技術職員による現地調査を行い、実数の把握に努めています。把握した箇所については、地図に記録して情報を管理したうえで、所有者に取り壊しをお願いするとともに、補助金制度の活用を案内していきます。



ごみ減量対策事業

問 市民一人1日あたりのごみ排出量の目標値が達成できなかったことについてどのように考えていますか。

答 様々な取組みは行っているものの、大きな成果をあげられていないのが現状です。ごみの中に含まれている資源の割合が年々増加しており、市民の分別意識が低下していることが一番の要因であると考えています。

問 生ごみしたい肥化容器等設置奨励補助事業について、大変有効なごみ減量事業と思えますが、交付件数が低下している結果についてどう考えますか。

答 ごみ減量の必要性を周知する中で、生ごみ堆肥化

容器や生ごみ処理機の有用性や補助事業について更にPRしていきたいと考えています。

**JR半田駅前
土地区画整理事業**

問 事業期間は平成46年までとなっておりますが、工事の終了時期はいつになるのですか。

答 工事期間は、JR武豊線連続立体交差化事業に合わせ、平成39年度中の完了を予定しています。

水道事業経営

問 県水受水費の見直しはどのように行われていますか。また、水道基本料金を上げないためにどのような努力を行いましたか。

答 県水の基本料金は、水道使用料の多い夏場において、一日あたりの最大受水量を抑えるよう、夜間を中心に職員による受水調整を行い、県水の基本料金を下げることができました。また、収納率の向上や、県水受水費の低減、効率的な配水を継続するなど事業費用の低減にも努め、県下でも安い水道料金を維持しています。

**決算審査に係る
反対討論**

中川健一議員

一つ目の問題は長期的な事業計画や財政計画のあり方がずさんであることです。二つ目、本来は連動しているべき部をまたがる事業がんでバラバラに実行されました。

三つ目は市長の市議会での答弁や市民への説明責任がデタラメであった、と言うことです。市長は猛反省し、やり方を見直すことを要望します。

山本佳代子議員

半田市一般会計等歳入歳出中りニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟、中部国際空港を核とした知多地域振興協議会に対して、負担金の支出は、採算性や環境問題からもやめるべきです。知多地方滞納整理機構は納税者に寄り添った徴税行政の上から脱退すべきです。市民課窓口委託・保育園給食調理等委託など、民間に委託はやめるべきです。



**総務委員会
委員会活動報告
(要旨)**

調査テーマ

「半田病院の経営形態と役割」

「常滑市・半田市医療提供体制等協議会」が開かれ、10月には常滑市・半田市両市長へ報告されることから、9月議会での中間報告として、早急に取り組むべき事項3点を提言します。

1 半田病院と常滑市民病院の経営統合をすること。

重複する診療科を再編し、限られた医療資源を集中化することにより効果的な医療提供体制を目指します。

2 半田病院を地方独立行政法人化すること。

地方公務員法の制限を受けずに必要な人材を確保でき、医療の質・サービスの向上につながります。

3 阿久比町、南知多町、美浜町、武豊町と半田病院の役割分担に関する議論を早急に始めること。

常滑市のみならず、知多中南部4町との役割分担についても議論が必要です。

※詳細につきましては、ホームページ、来年2月発行の議会だよりに掲載します。